

様式第 8

平成 2 6 年度循環型社会形成推進地域計画目標達成状況報告書

| 地域名 | 構成市町村等名 | 計画期間 | 事業実施期間 |
|-----------|---|----------------------|----------------------|
| 愛知県知多南部地域 | 半田市・常滑市・南知多町・美浜町・武豊町・常滑武豊衛生組合・知多南部衛生組合・知多南部広域環境組合 | 平成18年4月1日～平成25年3月31日 | 平成18年4月1日～平成25年3月31日 |

1 目標の達成状況
(ごみ処理) 【2市3町】

| 指 標 | 現状 (割合※1) (平成17年度) | 目標 (割合※1) (平成25年度) A | 実績 (割合※1) (平成25年度) B | 実績B /目標A | |
|------------------|-----------------------|-------------------------|-------------------------|------------------|--------|
| 排出量 | 事業系 総排出量 | 32,551t | 29,804t (-8.4%) | 31,309t (-3.8%) | 105.0% |
| | 1事業所当たりの排出量 | 2.86t | 2.70t (-5.6%) | 2.64t (-7.7%) | 97.8% |
| | 家庭系 総排出量 | 77,469t | 78,458t (1.3%) | 68,500t (-11.6%) | 87.3% |
| | 1人当たりの排出量 | 299kg/人 | 286kg/人 (-4.3%) | 261kg (-12.7%) | 91.3% |
| 合 計 事業系家庭系総排出量合計 | 110,020t | 108,262t (-1.6%) | 99,809t (-9.3%) | 92.2% | |
| 再生利用量 | 直接資源化量 | 159t (0.1%) | 1,185t (1.09%) | 1,134t (1.14%) | 95.7% |
| | 総資源化量 | 12,693t (11.5%) | 15,073t (13.9%) | 18,289t (18.3%) | 121.3% |
| 熱回収量 | 熱回収量 (年間の発電電力量) | -MWh | -MWh | -MWh | - |
| 減量化量 | 中間処理による減量化量 | 88,629t (80.6%) | 86,923t (80.3%) | 70,896t (71.0%) | 81.6% |
| 最終処分量 | 埋立最終処分量 | 18,599t (16.9%) | 17,719t (16.4%) | 14,793t (14.8%) | 83.5% |

※1 排出量は現状に対する割合、その他の指標は排出量に対する割合

(ごみ処理) 【半田市】

| 指 標 | 現状 (割合※1) (平成17年度) | 目標 (割合※1) (平成25年度) A | 実績 (割合※1) (平成25年度) B | 実績B /目標A | |
|------------------|-----------------------|-------------------------|-------------------------|------------------|--------|
| 排出量 | 事業系 総排出量 | 14,062t | 12,915t (-8.2%) | 11,626t (-17.3%) | 90.0% |
| | 1事業所当たりの排出量 | 2.85t | 2.71t (-4.9%) | 1.6t (-43.9%) | 59.0% |
| | 家庭系 総排出量 | 32,691t | 31,863t (-2.5%) | 28,904t (-11.6%) | 90.7% |
| | 1人当たりの排出量 | 276kg/人 | 261kg/人 (-5.4%) | 224kg/人 (-18.8%) | 85.8% |
| 合 計 事業系家庭系総排出量合計 | 46,753t | 44,778t (-4.2%) | 40,530t (-13.3%) | 90.5% | |
| 再生利用量 | 直接資源化量 | 159t (0.3%) | 1,185t (2.6%) | 0t (0%) | 0% |
| | 総資源化量 | 7,657t (16.4%) | 9,451t (21.1%) | 10,948t (27.0%) | 115.8% |
| 熱回収量 | 熱回収量 (年間の発電電力量) | -MWh | -MWh | -MWh | - |
| 減量化量 | 中間処理による減量化量 | 37,665t (80.6%) | 35,307t (78.8%) | 27,775t (68.5%) | 78.7% |
| 最終処分量 | 埋立最終処分量 | 7,955t (17.0%) | 7,459t (16.7%) | 6,610t (16.3%) | 88.6% |

※1 排出量は現状に対する割合、その他の指標は排出量に対する割合

(ごみ処理) 【常滑武豊衛生組合】

| 指 標 | 現状 (割合※1) (平成17年度) | 目標 (割合※1) (平成25年度) A | 実績 (割合※1) (平成25年度) B | 実績B /目標A | |
|------------------|-----------------------|-------------------------|-------------------------|------------------|--------|
| 排出量 | 事業系 総排出量 | 9,740t | 8,703t (-10.6%) | 10,583t (8.7%) | 121.6% |
| | 1 事業所当たりの排出量 | 2.49t | 2.28/t (-8.4%) | 2.50t (0.4%) | 109.6% |
| | 家庭系 総排出量 | 30,015t | 32,729t (9.0%) | 27,117t (9.7%) | 82.9% |
| | 1 人当たりの排出量 | 321kg/人 | 308kg/人 (-4.0%) | 222kg/人 (-30.8%) | 72.1% |
| 合 計 事業系家庭系総排出量合計 | 39,755t | 41,432t (4.2%) | 37,700t (-5.2%) | 91.0% | |
| 再生利用量 | 直接資源化量 | 0t (0.0%) | 0t (0.0%) | 12t (0.03%) | — |
| | 総資源化量 | 2,699t (6.8%) | 3,330t (8.0%) | 4,518t (12.0%) | 135.7% |
| 熱回収量 | 熱回収量 (年間の発電電力量) | —MWh | —MWh | —MWh | — |
| 減量化量 | 中間処理による減量化量 | 32,798t (82.5%) | 34,124t (82.4%) | 26,881t (71.3%) | 78.8% |
| 最終処分量 | 埋立最終処分量 | 6,195t (15.6%) | 6,482t (15.6%) | 4,715t (12.5%) | 72.7% |

※1 排出量は現状に対する割合、その他の指標は排出量に対する割合

(ごみ処理) 【知多南部衛生組合】

| 指 標 | 現状 (割合※1) (平成17年度) | 目標 (割合※1) (平成25年度) A | 実績 (割合※1) (平成25年度) B | 実績B /目標A | |
|------------------|-----------------------|-------------------------|-------------------------|------------------|--------|
| 排出量 | 事業系 総排出量 | 8,749t | 8,186t (-6.4%) | 9,100t (4.0%) | 111.2% |
| | 1 事業所当たりの排出量 | 3.46t | 3.35t (-3.2%) | 3.20t (-7.5%) | 95.5% |
| | 家庭系 総排出量 | 14,763t | 13,866t (-6.1%) | 12,479t (-15.5%) | 90.0% |
| | 1 人当たりの排出量 | 315kg/人 | 297kg/人 (-5.7%) | 254kg/人 (-19.4%) | 85.5% |
| 合 計 事業系家庭系総排出量合計 | 23,512t | 22,052t (-6.2%) | 21,579t (-8.2%) | 97.9% | |
| 再生利用量 | 直接資源化量 | 0t (0.0%) | 0t (0.0%) | 1,122t (5.2%) | — |
| | 総資源化量 | 2,337t (9.9%) | 2,292t (10.4%) | 2,823t (13.1%) | 123.2% |
| 熱回収量 | 熱回収量 (年間の発電電力量) | —MWh | —MWh | —MWh | — |
| 減量化量 | 中間処理による減量化量 | 18,166t (77.3%) | 17,492t (79.3%) | 16,240t (75.3%) | 92.8% |
| 最終処分量 | 埋立最終処分量 | 4,449t (18.9%) | 3,777t (17.1%) | 3,468t (16.1%) | 91.8% |

※1 排出量は現状に対する割合、その他の指標は排出量に対する割合

2 各施策の実施状況

| 施策種別 | 事業番号 | 施策の名称等 | 実施主体 | 施策の概要 | 事業実施期間 (事業計画期間) | 施策の実績 |
|-------------------|------|----------|------|--|--------------------|--|
| 発生抑制、再使用の推進に関するもの | 1 1 | 有料化 | 2市3町 | 家庭系ごみの有料化導入検討 | H18～H19 | <ul style="list-style-type: none"> ・レジ袋有料化を実施した。 ・家庭系ごみの一部有料化を行った。 |
| | 1 2 | 環境教育 | 2市3町 | ごみ減量イベント・講習会・公演会、不用品交換会・フリーマーケット、施設見学会、修理・リフォーム教室、子供エコクラブの開催等。 | H18～H24 | <ul style="list-style-type: none"> ・住民・小中学校に対し環境学習、リサイクル推進等の啓発活動、ごみ処理施設見学会等を行った。 ・家具のリユース市、フリーマーケット等を開催した。 |
| | 1 3 | 広報啓発 | 2市3町 | 広報、ホームページでの生ごみの水切り・堆肥化励行、過剰包装を控える、使い捨て製品を極力購入しないなどの減量化方策の呼びかけ。排出マナー優良地域や集団回収活性地域の表彰。 | H18～H24 | <ul style="list-style-type: none"> ・広報紙、ホームページにおいて、生ごみの水切り・堆肥化励行、過剰包装を控える、使い捨て製品を極力購入しないなどの減量化方策の呼びかけを定期的に行った。 |
| | 1 4 | 助成 | 2市3町 | 生ごみ堆肥化容器設置の助成、利用促進のための説明会・講習会の開催検討。 | H18～H24 | <ul style="list-style-type: none"> ・生ごみ堆肥化容器設置の助成を行い堆肥化の推進を図った。また、出前講座によりその説明会を行った。 |
| | 1 5 | 容器包装の適正化 | 2市3町 | ごみ減量リサイクル推進店等と協力したマイバッグ運動の推進。 | H18～H24 | <ul style="list-style-type: none"> ・ごみ減量リサイクル推進店等と協力して、マイバッグ等の持参促進及びレジ袋有料化によるレジ袋削減に取り組んだ。 |
| | 1 6 | 集団回収の促進 | 2市3町 | 助成継続、手引きの作成・配布、指導・助言による推進。 | H18～H24 | <ul style="list-style-type: none"> ・自治区や子ども会等の団体が実施する集団資源回収に報償金の支給や、資源回収袋や回収容器の無償貸与をする等して集団回収の促進活動を行った。 |

| | | | | | | |
|--------------------|-----|----------------|-------------|---|---------|---|
| | 1 7 | 事業者との連携 | 2市3町 | 詰め替え方商品の積極的販売や包装の簡易化等の排出抑制への取り組み、自主回収の強化について事業者へ要望。 | H18～H24 | ・広報紙において簡易包装の要望を行った。 |
| 処理体制の構築、変更に関するもの | 2 1 | 容器包装廃棄物の資源化の推進 | 半田市 | その他プラスチック製容器包装を新たにステーション方式で分別収集開始。ペットボトルを拠点回収からステーション方式での分別収集に変更。 | H18～H24 | ・H18からその他プラスチック製容器包装とペットボトルを、拠点回収からステーション方式での分別収集に変更を行った。 |
| | 2 2 | 事業者への指導の徹底 | 2市3町 半田市 | 多量排出事業者への個別指導、事業系搬入ごみの検査体制強化、多量排出事業者への減量化計画の作成指導。 | H18～H22 | ・造園業者等に対して、樹木剪定枝、刈草等の資源化の推進を図るように指導を行った。 |
| 処理施設の整備に関するもの | 1 | 熱回収施設整備 | 知多南部広域環境組合 | 施工管理、建設工事 | H25～H28 | ・H25以降事業 |
| | 2 | 最終処分場整備 | 半田市 | 施工管理、建設工事 | H19～H20 | ・H21年4月供用開始 |
| | 3 | 最終処分場整備 | 知多南部衛生組合 | 施工管理、建設工事 | H21～H22 | ・H23年4月供用開始 |
| 施設整備に関わる計画支援に関するもの | 3 1 | 1の計画支援 | 2市3町 | 施設整備基本計画 | H18 | ・H19年3月施設整備基本計画策定を行った。 |
| | | | 2市3町 | PFI導入可能性調査 | H18 | ・H18にて調査を行った。 |
| | | | 知多南部広域環境組合 | 熱回収施設整備事業及び運営維持管理業務の発注支援 | H22～H25 | ・H22から熱回収施設整備事業及び運営維持管理業務の発注支援を行った。 |
| | | | 知多南部広域環境組合 | 測量調査 | H22 | ・H22において測量調査を行った。 |
| | | | 知多南部広域環境組合 | 地質調査 | H22 | ・H22において地質調査を行った。 |
| | | | 知多南部広域環境組合 | 環境影響評価調査 | H22～H25 | ・H22から環境影響評価を行った。 |

| | | | | | | |
|-----|-----|-----------------|----------|--------------------------------------|-------------|---|
| | 3 2 | 2の計画支援 | 半田市 | 実施設計 | H 1 8 | ・ H18において実施設計を行った。 |
| | 3 3 | 3の計画支援 | 知多南部衛生組合 | 生活環境影響調査、実施設計、用地測量委託、発注仕様書及び工事費積算業務 | H 1 9～H 2 1 | ・ H19から生活環境影響調査、実施設計、用地測量委託、発注仕様書及び工事費積算業務を行った。 |
| その他 | 4 1 | 不法投棄対策 | 半田市 | 監視指導の強化、広報活動等による不法投棄防止の啓発 | H 1 8～H 2 4 | ・ 不法投棄防止看板による啓発、広報紙・ホームページに関連記事の掲載を行う等の啓発を行った。 |
| | 4 2 | 災害時の廃棄物処理に関する事項 | 半田市 | 災害廃棄物処理計画を策定するなど、地域内及び周辺地域との連携体制を構築。 | H 1 8～H 1 9 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 半田市災害廃棄物処理計画策定及び、他機関との相互応援協定として以下の策定を行った。 ・ 災害時の一般廃棄物処理及び下水道処理に係る相互応援協定書（愛知県下市区町村） ・ 災害時における廃棄物の処理等に関する協定書（愛知県産業廃棄物協会） ・ 災害時における一般廃棄物の処理等に関する協定書（半田衛生事業組合） ・ し尿及びごみ処理相互援助に関する協定書（三河知多清掃施設連絡協議会） |

3 目標の達成状況に関する評価

○排出量

目標の108,262tに対し実績99,809tであり、目標値以上に削減することができた。

なお、事業系の総排出量が目標値を上回っているが、その理由は、常滑武豊衛生組合（常滑市・武豊町）と知多南部衛生組合（南知多町・美浜町）における事業系排出量が目標値を上回ったことによるものである。この要因としては、常滑市においては、区画整理の進展による新たな複数の大型商業施設の出店等により事業系排出量が増えたことによる。また、南知多・美浜町においては、これまで長年にわたり把握することが困難であった漁家等の小規模な加工所の排出する生ごみ等が事業系でありながら、家庭系として排出していた事例が多く見受けられていたため、地区ごとに事業系として適正に処理してもらうよう指導した結果、事業系が増加したことが考えられる。

事業系家庭系総排出量合計としては目標値を達成しており、総体として目標を達成することができたと考える。

○再生利用量

総資源化量は目標の15,073tに対し、実績18,289tであり、目標を達成することができた。

なお、直接資源化量については目標1,185tに対し、実績値1,134tと目標値に達しなかったが、総排出量に対する割合は、目標値1.09%に対し、実績値1.14%と目標値を上回っており、目標を達成することができたと考える。

○減量化量

目標の86,923tに対し実績70,896tであり、目標を達成できなかった。その理由は、紙製容器包装やプラスチック製容器包装などの分別収集が進み、中間処理量の減少、処理残さの割合が多いごみ質に変化していること等が考えられる。改善するための方策として、改善計画書を作成した。

○最終処分量

目標の17,719tに対し、実績14,793tであり、目標を達成することができた。

(都道府県知事の所見)

ほとんどの項目が目標を達成しており、各施策の効果があつたことが認められる。なお、排出量のうち事業系総排出量については目標値に達していないものの現状（平成17年度）より削減されていること、1事業所あたりの排出量及び事業系家庭系総排出量合計値では目標値以上に削減できていることから総体として目標を達成していると認められる。また、再生利用量のうち直接資源化量についても目標値に達していないが、排出量に対する割合が目標値を上回っていること、総資源化量が目標を達成していることから同じく目標を達成していると認められる。

目標を達成できなかった減量化量については、改善計画書にあるとおり、中間処理量が減少し資源化量が増加する一方で減量化しにくい廃棄物が増加していることが原因で、今後はより効率的な処理が行えるよう検討しさらなる減量化をすることとしており、今後の推移を見守ることとしたい。

今後は、非達成項目に関する施策を中心に施策を充実し、さらなる循環型社会の形成推進に努められたい。県においても、必要に応じて助言する等、支援していく。

知多南部地域循環型社会形成推進地域計画に係る改善計画書

1. 目的

本計画書は、循環型社会形成推進地域計画目標達成状況報告書の「1 目標達成状況」により、未達成となった項目について、その要因を分析するとともに、今後の目標達成に向けた方策等に係る計画を定めるものである。

2. 非達成項目

- ・減量化量（中間処理による減量化量）、
目標 86,923 t に対し、実績 70,896 t

なお、事業系排出量については目標 29,804 t に対し実績 31,309 t と、目標値まで削減することができなかったが、事業系家庭系総排出量としては目標値以上に削減できており、総体として目標を達成していると考え。今後とも事業所に対しては個別指導等を行い、事業系ごみの削減を推進する。

また、直接資源化量についても、目標 1,185 t に対し、実績 1,134 t と目標値に達成していないが、総排出量に対する割合は目標値以上に増加しており、また総資源化量としては目標値を上回っているため、目標を達成していると考え。今後とも広報等を用いて、直接資源化物の回収を推進する。

3. 目標が達成できなかった要因

中間処理量自体が減少していること、紙製容器包装、プラスチック製容器包装等の回収が進んで資源化量の割合が増大した反面、減量化できる量が減少したこと、ごみ質が変化し減量化しにくい廃棄物の割合が増加したこと等が要因と考えられる。

4. 目標の達成に向けた施策等

分別収集の進捗やごみ質の変化等の影響を踏まえ、予測の精度を上げるとともに、より効率的な処理を行うよう検討していく。